

2017年4月26日

スタンダードチャータード PLC - 中間経営ステートメント

スタンダードチャータード PLC (以下、「当行グループ」)は、4月26日付で、2017年度第1四半期に関する中間経営ステートメント(IMS)を発表しました。別段の注記がない限り、すべての数字は特別要因調整後ベースで表示されています。

当行グループ最高経営責任者のビル・ウィンターズは、第1四半期の業績について、以下のように述べています。

「当行グループの業績は順調に改善しています。税引前利益が大きく増加した理由は、クレジットコストの著しい減少、およびコスト管理に注力したことにあります。事業を展開する市場は依然として厳しい競争環境にありますが、ビジネスへの投資と顧客重視の姿勢によって当行グループの競争力は強化されつつあり、徐々に持続可能な収益の成長を実現できるようになると考えます。」

第1四半期の業績ハイライト

- 収益は36億米ドルと、前年同期比8%の増加、昨年のプリンシパルファイナンス事業の損失を除くと4%の増加を示しました。
- 費用は適切に管理され、2016年並みの24億米ドルに抑えられました。
- クレジットコストは1億9,800万米ドルと、前年同期比58%減という著しい減少を示しました。
- 特別要因調整後の税引前利益10億米ドルは前年同期比94%増加、昨年のプリンシパルファイナンス事業の損失を除くと26%増加となりました。
- 再編関連コストの5,500万米ドルを控除した後の税引前利益も約10億米ドルとなりました(2016年第1四半期は5億米ドル)。

抵抗力のあるバランスシートと磐石な資本基盤

- 顧客向け貸付金その他の金銭債権の純額は、2016年年末から5%増加して2,700億米ドルに達しました。
- 顧客口座の残高は当四半期中に5%増加し3,980億米ドルとなりました。
- 四半期末現在の預貸率は67.8%となりました。
- 当行グループはすでに、2022年の「自己資本および適格債務の最低基準」(MREL)の予想される水準を満たしています。
- 普通株式等Tier1比率は13.8%と、2016年年末から20ベースポイント上昇しています。
- 当行グループは2017年1月に、10億米ドルのその他Tier1(AT1)資本証券を発行しました。

まとめと今後の見通し

- 税引前利益が大きく増加した理由は、クレジットコストの著しい減少、およびコスト管理の奏功です。
- 収益トレンドを持続的に改善させるための取組みが進められています。
- 総コストの削減によって、投資を拡大させる能力が引き続き生み出されています。
- ポートフォリオの一部では厳しい状況が続いていますが、全体的なクレジットの質は安定しています。
- 市場は依然として厳しい競争環境にありますが、当行グループは成長の機会を創出するための投資を続けています。

業績サマリー	16年 第1四半期 (百万米ドル)	16年 第4四半期 (百万米ドル)	17年 第1四半期 (百万米ドル) ¹	17年 第1四半期 (16年 第1四半期比) 改善/(悪化)	17年 第1四半期 (16年 第4四半期比) 改善/(悪化)
営業収益	3,345	3,533	3,608	8%	2%
その他の営業費用	(2,006)	(2,368)	(2,069)	(3%)	13%
規制関連コスト	(243)	(303)	(309)	(27%)	(2%)
銀行税(英国)	-	(383)	-	nm	nm
クレジットコスト・税引前営業利益	1,096	479	1,230	12%	157%
顧客向け貸付金その他の金銭債権およびその 他信用リスク引当金に伴うクレジットコスト	(471)	(690)	(198)	58%	71%
その他減損費用	(123)	(106)	(53)	57%	50%
関係会社利益	37	(42)	66	78%	nm
特別要因調整後の税引前利益	539	(359)	1,045	94%	nm
再編関連コスト	(123)	(599)	(55)	55%	91%
その他の項目	84	87	-	nm	nm
税引前利益	500	(871)	990	98%	nm

¹ 当行グループは2016年にプリンシパルファイナンス事業からの撤退を決定したため、2017年1月1日からはその損益は再編コストに計上され、特別要因調整後の損益には含まれていません。

収益は36億米ドルと、前年同期比8%の増加、昨年第1四半期におけるプリンシパルファイナンス事業の損失を除くと4%の増加を示しました。前四半期比では、資産負債管理における増収がコーポレートファイナンス案件のタイミングと外国為替取引からの減収によって一部相殺された結果、2%の増加となりました。

その他の営業費用は前年同期比3%減少し、コスト管理に強く注力したことが示されました。規制関連コストは前年同期比で27%増加、前四半期比では2%の増加となりました。当行グループは、2018年末までにさらに11億米ドルの総コスト削減を達成するという計画に向けて順調に進んでいます。この計画が達成されれば、顧客とともに成長する機会を創出し、また当行グループにおける統制とコンプライアンスのインフラストラクチャーを整備するためのいっそうの投資が可能になります。

クレジットコストの1億9,800万米ドルは、前年同期比では58%減少、前四半期比では71%の減少となりました。法人部門およびコマースバンキング部門におけるクレジットコストの減少は、一部、前四半期にダイヤモンド・宝飾品セクターに対して引当金を計上していたためです。リテールバンキング部門のクレジットコストも2016年下期の水準を下回りました。全体的なクレジットの質は前年同期より改善し、クレジットコストは大幅に減少していますが、当行グループは、市場の信用状況について慎重な見方を維持しています。

その他減損費用の5,300万米ドルにはプリンシパルファイナンス事業の損失は含まれておらず、そのため、前年同期比で7,000万米ドル減少、前四半期の水準の約半分となっています。

関係会社利益の6,600万米ドルは、前年同期比と前四半期比でともに増加しました。この一因は、当行グループのインドネシアにおけるジョイントベンチャーの業績が、事業安定化のために実施した対策により好転したことにあります。

上記の結果、特別要因調整後の税引前営業利益は10億米ドルと、前年同期比94%増加、昨年のプリンシパルファイナンス事業の損失を除くと26%増加となりました。

税引前利益の 10 億米ドルには、主にプリンシパルファイナンス事業における損失に関係する 5,500 万米ドルの再編関連コストが含まれています。これにより、2015 年 11 月の経営戦略発表以来の再編関連コストの合計額は、28 億米ドルに達しました。

特別要因調整後の顧客セグメント別収益	16 年 第 1 四半期 (百万米ドル)	16 年 第 4 四半期 (百万米ドル)	17 年 第 1 四半期 (百万米ドル) ¹	17 年 第 1 四半期 (16 年 第 1 四半期比) 改善/(悪化)	17 年 第 1 四半期 (16 年 第 4 四半期比) 改善/(悪化)
法人部門	1,554	1,729	1,623	4%	(6%)
リテールバンキング部門	1,151	1,167	1,174	2%	1%
コマーシャルバンキング部門	348	305	327	(6%)	7%
プライベートバンキング部門	115	110	117	2%	6%
その他の項目	177	222	367	107%	65%
総営業収益	3,345	3,533	3,608	8%	2%

法人部門の収益は 16 億米ドルと前年同期比 4%増加、前四半期比では 6%減少しました。プリンシパルファイナンス事業の損失を除くと、それぞれ 4%と 7%の減少になります。第一四半期のバランスシート増強による収益増は、コーポレートファイナンスの減収およびボラティリティー低下に伴う外国為替取引からの減収により相殺されました。

リテールバンキング部門の収益は 12 億米ドルと、前年同期比 2%増加、前四半期比では 1%の増加となりました。資産の利ざやの縮小、および季節的な残高減少によるカード・個人ローンの減収の影響は、特に香港でプライオリティー顧客の割合が高まったことによるウェルスマネジメント、および預金商品からの増収によって相殺されました。

コマーシャルバンキング部門の収益は、債務の利ざやと残高の増加の効果が、資産の利ざやと残高の減少、および外国為替取引からの減収によって相殺され、前年同期比 6%減の 3 億 2,700 万米ドルとなりました。前 4 四半期比では、外国為替取引からの収入増により 7%の増加となっています。

プライベートバンキング部門の収益は 1 億 1,700 万米ドルと、前年同期比 2%増加、前四半期比では 6%の増加となりました。第 1 四半期中の預金利ざやの拡大とウェルスマネジメント関連商品の販売増により、2016 年中に実施した当セグメントの事業リスク改善策による貸出残高と利ざやの減少の影響が打ち消されました。2017 年は年初から好調で、第 1 四半期中に純額で 9 億米ドルの新規資金が流入しました。

その他の項目に含まれる資産負債管理の収益は、香港とインドにおける良好な市場環境に支えられ、前年同期比 9,900 万米ドル増加、前四半期比で 1 億 7,600 万米ドルの増加となりました。

特別要因調整後の地域別収益	16年 第1四半期 (百万米ドル)	16年 第4四半期 (百万米ドル)	17年 第1四半期 (百万米ドル) ¹	17年 第1四半期 (16年 第1四半期比) 改善/(悪化)	17年 第1四半期 (16年 第4四半期比) 改善/(悪化)
中華圏・北アジア	1,274	1,329	1,381	8%	4%
ASEAN・南アジア	1,043	993	1,002	(4%)	1%
アフリカ・中東	709	653	686	(3%)	5%
ヨーロッパ・米州	391	464	435	11%	(6%)
その他の項目	(72)	94	104	nm	11%
総営業収益	3,345	3,533	3,608	8%	2%

中華圏・北アジアからの収益は 14 億米ドルと、前年同期比 8%増加、前四半期比では 4%の増加となりました。香港におけるリテールバンキングとプライベートバンキングの牽引、また堅調なウェルスマネジメント及び預金商品の伸びにより、利ざやの縮小と季節的要因によるクレジットカード・個人ローンの残高減少の影響を補いました。法人部門では、フィナンシャルマーケットの好調とキャッシュマネジメントの利ざや拡大が、コーポレートファイナンスの減収によって相殺されました。この地域は、良好な市場環境を背景にした、資産負債管理における前四半期比での増収から恩恵を受けています。

ASEAN・南アジアの収益 10 億米ドルは前年同期比 4%減少、前四半期比では 1%の増加でした。法人部門はコーポレートファイナンスの減収の影響を受け、リテールバンキング部門の収益は、フィリピンおよびタイで最近実施された、または今後予定されている事業の撤退に伴って減少しました。この影響は、資産負債管理における増収によって相殺されました。

アフリカ・中東からの収益は、アフリカの現地通貨の下落および中東におけるフィナンシャルマーケットの減収の影響を、キャッシュマネジメントの利ざや拡大と残高増加の効果によって打ち消しきれず、前年同期比 3%減の 6 億 8,600 万米ドルとなりました。前四半期比では、ウェルスマネジメントおよびフィナンシャルマーケットの増収により、5%の増収となりました。

ヨーロッパ・米州は、当行グループ法人部門のネットワーク・ビジネスに大きく貢献しました。キャッシュマネジメントの残高増と利ざやの拡大に牽引されて、収益は 4 億 3,500 万米ドルと前年同期比 11%増加しました。前四半期比では、外国為替およびコーポレートファイナンスの減収により、収益は 6%の減少となりました。

その他の項目は 1 億 400 万米ドルと、プリンシパルファイナンス事業のプライベートエクイティ投資における評価損がなくなったため、前年同期比、前四半期比ともに増収となりました。

資産の質

	16年12月31日現在			17年12月31日現在		
	通常事業 (百万米ドル)	流動化 ポートフォリオ (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)	通常事業 (百万米ドル)	流動化 ポートフォリオ (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
貸付金その他の金銭債権						
顧客向け貸付金その他の金銭債権総額	258,396	3,854	262,250	272,287	3,768	276,055
顧客向け貸付金その他の金銭債権純額	254,463	1,433	255,896	268,349	1,391	269,740
クレジットの質						
不良貸付総額	5,880	3,807	9,687	6,145	3,724	9,869
個別減損引当金	(3,355)	(2,421)	(5,776)	(3,354)	(2,377)	(5,731)
不良貸付純額	2,525	1,386	3,911	2,791	1,347	4,138
CG12 口座 ¹	1,499	22	1,521	1,164	20	1,184
不良貸付貸倒引当率 ²	69%	64%	67%	66%	64%	65%
不良貸付貸倒引当率(担保考慮後) ³	73%	80%	76%	72%	79%	75%
リスクアセット	265,637	3,808	269,445	269,536	3,767	273,303

¹ 法人部門、コマーシャルバンキング部門、その他の項目を含みます。

² ポートフォリオの減損引当金を含みます。

³ ポートフォリオの減損引当金を含みません。

ポートフォリオの一部では厳しい状況が続いていますが、当行グループ全体のクレジットの質は、引き続き、おおむね安定しています。

2016 年年末以来、CG12 口座の残高は 3 億 3,500 万米ドル減少しましたが、通常事業の不良貸付総額は 61 億米ドルと、2 億 6,500 万米ドルの増加を示しました。これは法人部門の少数の顧客がダウングレードされたことに伴うものであり、厳しい状況が続いていることを反映しています。不良貸付の貸倒引当率は 69 パーセントから 66 パーセントに低下しましたが、担保考慮後ではほぼ同じ水準となっています。

流動性ポートフォリオにおけるエクスポージャーのクレジットの質は引き続き安定しています。

バランスシート、資本およびレバレッジ	16年12月31日現在 (百万米ドル)	17年3月31日現在 (百万米ドル)	増加/減少
バランスシート			
顧客向け貸付金その他の金銭債権純額	255,896	269,740	13,844
顧客向け債権	378,302	397,564	19,262
預貸率	67.6	67.8	
資本			
普通株式等 Tier 1 比率	13.6%	13.8%	20bps
リスクアセット	269,445	273,303	3,858
レバレッジ			
レバレッジ率	6.0%	5.9%	(10)bps

資本およびレバレッジについて、詳しくは当行グループの「ピラー(Pillar)3 開示事項」に記載されています。

当行グループのバランスシートは依然として磐石かつ流動性が高く、分散化が進行しています。

顧客向け貸付金その他の金銭債権純額は、主に堅調なコーポレートファイナンスとモーゲージに牽引されて、2016年12月31日から5%増の2,700億米ドルとなっています。当行グループが引き続き信用力の高い顧客の営業口座獲得に注力したため、顧客預金も5%増加して3,980億米ドルに達しました。

この結果、第1四半期末時点の当行グループの預貸率は、2016年末の67.6%から、67.8%に上昇しました。

当行グループの普通株式等 Tier 1 比率は13.8%と、2016年年末から20ベースポイント上昇していますが、これは主に、当四半期の利益と為替換算を反映したものです。銀行の必要資本比率を決定する規制改革の行方を含め、資本に関しては多くの不透明要因が残っています。

当行グループは当四半期中に10億米ドルのその他 Tier 1 (AT1) 資本証券を発行し、資本市場で活発に活動しています。

イングランド銀行は、当行グループにおける非拘束的な「自己資本および適格債務の最低基準」(MREL)が2022年1月1日以降にリスクアセットの21.6%となる見通しを示しました。コンパインド・バッファが追加されると予想されています。当行グループは、2016年12月31日時点で、MRELのポジションがリスクアセットの26%を超えていると試算しています。

まとめと今後の見通し

第1四半期における当行グループの収益性改善は、クレジットコストの著しい減少、およびコスト管理に引き続き注力したことによるものです。当行グループが事業展開する多くの市場は依然として厳しい競争環境にありますが、当行グループは顧客とともに成長する機会があるとの見方を維持し、自身が競争力を持つ分野に投資を行い、収入の持続的な成長を実現することに引き続き尽力していきます。」

(本資料は、ロンドンにて2017年4月26日付で発表された資料の日本語参考訳(抜粋)で、すべてにおいて英語版が優先します。)



詳細につきましては、以下の担当者へご連絡ください。

Mark Stride, Head of Investor Relations +44 (0)20 7885 8596
Julie Gibson, Head of Media Relations +44 (0)20 7885 2434

本資料に記載の「今後の見通し」については、現時点での予測・意見、もしくは将来予測されるイベントに基づき作成されたもので、その適時性・実現性を保証するものではありません。また、本資料には、「予測」「目標」「見通し」「傾向」「計画」「目標」「評価」「意見」「可能性」他、それに類似する表現が使用されていますが、このような表現を含む各種見解・見通しについては、今後の経済動向や市場環境等の変化に対応して当行の業績・計画・目標を変更する場合もあり、その正確性もしくは完全性に関していかなる責任も負わないものとします。また、本資料は、信頼性の高い過去または現在の情報に基づき作成されていますが、将来における結果を示唆するものではないことをご確認ください。更に、当資料中のコメントは作成日現在の当行の判断を示したものであり、将来のイベントや情報により内容に変更がある場合にも、当行はそれに対する責任を負わないものとします。

ADDITIONAL INFORMATION

Quarterly underlying operating income for the last seven quarters

By client segment	Q3 2015	Q4 2015	Q1 2016	Q2 2016	Q3 2016	Q4 2016	Q1 2017
	\$million	\$million	\$million ¹	\$million ¹	\$million	\$million	\$million
Corporate & Institutional Banking	1,725	1,513	1,554	1,593	1,596	1,729	1,623
Retail Banking	1,199	1,166	1,151	1,165	1,186	1,167	1,174
Commercial Banking	377	309	348	319	323	305	327
Private Banking	127	117	115	146	125	110	117
Central & other items	254	157	177	242	235	222	367
Total operating income	3,682	3,262	3,345	3,465	3,465	3,533	3,608

¹ Corporate & Institutional Banking and Commercial Banking income has been restated by \$30 million to correctly reflect the allocation of Principal Finance losses in Q1 2016

By geographic region	Q3 2015	Q4 2015	Q1 2016	Q2 2016	Q3 2016	Q4 2016	Q1 2017
	\$million						
Greater China & North Asia	1,391	1,298	1,274	1,277	1,310	1,329	1,381
ASEAN & South Asia	1,116	937	1,043	1,011	1,005	993	1,002
Africa & Middle East	667	638	709	711	669	653	686
Europe & Americas	439	452	391	426	383	464	435
Central & other items	69	(63)	(72)	40	98	94	104
Total operating income	3,682	3,262	3,345	3,465	3,465	3,533	3,608

By product	Q3 2015	Q4 2015	Q1 2016	Q2 2016	Q3 2016	Q4 2016	Q1 2017
	\$million						
Transaction Banking	800	733	716	702	722	744	785
Trade	363	314	305	299	300	295	297
Cash Management and Custody	437	419	411	403	422	449	488
Financial Markets	622	582	697	642	714	676	626
Foreign Exchange	361	281	365	264	249	272	225
Rates	180	106	169	174	187	147	162
Commodities	61	50	44	34	59	53	48
Credit and Capital Markets	72	81	75	80	112	97	119
Other Financial Markets	(52)	64	44	90	107	107	72

Corporate Finance	517	459	470	474	421	532	447
Wealth Management	375	364	349	370	387	377	421
Retail Products	952	915	915	918	925	900	871
CCPL and other unsecured lending	443	417	403	390	394	370	344
Deposits	291	283	301	327	333	326	346
Mortgage and Auto	199	197	193	183	178	185	164
Other Retail Products	19	18	18	18	20	19	17
Asset and Liability Management	78	45	105	112	63	28	204
Lending and Portfolio Management	180	134	150	130	93	103	95
Principal Finance ²	(17)	(88)	(130)	(37)	(30)	(20)	-
Other	175	118	73	154	170	193	159
Total operating income	3,682	3,262	3,345	3,465	3,465	3,533	3,608

²In 2016 the Group disclosed its decision to exit Principal Finance and from 1 January 2017 gains and losses are treated as restructuring and excluded from the Group's underlying performance

Basis of presentation

This interim management statement covers the results of Standard Chartered PLC together with its subsidiaries (the Group) as at and for the three months ended 31 March 2017. Following the Group's adoption of the IFRS 9 Financial Instruments requirement to reflect changes in the value attributable to own credit on fair value elected liabilities in other comprehensive income, the performance summary table has been restated to remove OCA from the three months ended 31 March 2016 and three months ended 31 December 2016.

The Group uses a number of alternative performance measures including underlying earnings, credit grade 12 and cover ratio in the discussion of its business performance and financial position. These are defined as follows:

Restructuring and other items

The Group's statutory performance is adjusted for profits or losses of a capital nature, amounts consequent to investment transactions driven by strategic intent, other infrequent and/or exceptional transactions that are significant or material in the context of the Group's normal business earnings for the period and items which management and investors would ordinarily identify separately when assessing performance period-by-period. These adjustments are set out below.

	3 months ended 31.03.16		3 months ended 31.12.16		3 months ended 31.03.17	
	Restructuring \$million	Other items \$million	Restructuring \$million	Other items \$million	Restructuring \$million	Other items \$million
Operating income	-	84	(207)	253	(28)	-
Operating expenses	-	-	(211)	-	(40)	-
Operating profit before impairment and tax	-	84	(418)	253	(68)	-

Impairment losses on loans and advances and other credit risk provisions	(107)	-	(102)	-	(5)	-
Other impairment	(16)	-	(17)	(166)	-	-
(Loss)/profit from associates and joint ventures	-	-	(62)	-	18	-
(Loss)/profit before taxation	(123)	84	(599)	87	(55)	-

Credit grade 12 accounts

These are customer accounts that while performing at present exhibit potential credit weaknesses and could become impaired in the future. There is however, currently, no expectation of loss of principal or interest, and therefore interest on credit grade 12 accounts is taken to income. Further credit rating details are provided on pages 142 to 143 and a credit quality mapping table is provided on page 152 of the 2016 Annual Report.

Cover ratio

The cover ratio represents the extent to which non-performing loans are covered by impairment allowances.

Forward-looking statements

This document may contain 'forward-looking statements' that are based on current expectations or beliefs, as well as assumptions about future events. These forward-looking statements can be identified by the fact that they do not relate only to historical or current facts. Forward-looking statements often use words such as may, could, will, expect, intend, estimate, anticipate, believe, plan, seek, continue or other words of similar meaning. By their very nature, such statements are subject to known and unknown risks and uncertainties and can be affected by other factors that could cause actual results, and the Group's plans and objectives, to differ materially from those expressed or implied in the forward-looking statements. Recipients should not place reliance on, and are cautioned about relying on, any forward-looking statements. There are several factors which could cause actual results to differ materially from those expressed or implied in forward-looking statements. The factors that could cause actual results to differ materially from those described in the forward-looking statements include (but are not limited to) changes in global, political, economic, business, competitive, market and regulatory forces or conditions, future exchange and interest rates, changes in tax rates, future business combinations or dispositions and other factors specific to the Group.

Any forward-looking statement contained in this document is based on past or current trends and/or activities of the Group and should not be taken as a representation that such trends or activities will continue in the future. No statement in this document is intended to be a profit forecast or to imply that the earnings of the Group for the current year or future years will necessarily match or exceed the historical or published earnings of the Group. Each forward-looking statement speaks only as of the date of the particular statement. Except as required by any applicable laws or regulations, the Group expressly disclaims any obligation to revise or update any forward-looking statement contained within this document, regardless of whether those statements are affected as a result of new information, future events or otherwise. Nothing in this document shall constitute, in any jurisdiction, an offer or solicitation to sell or purchase any securities or other financial instruments, nor shall it constitute a recommendation or advice in respect of any securities or other financial instruments or any other matter.